年間授業計画

墨田工科高等学校 令和7年度

教科 工業(電気) 科目 電気実習

教科: 工業(電気) 科目: 電気実習 単位数: 3 単位

対象学年組:第 2 学年 3 組~ 4 組

教科担当者: 使用教科書: ( 自校作成資料 )

教科 工業(電気) の目標: 工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高めさせる。

【知識及び技能】 安全第一に基礎的技術の知識や技能を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 技術的操作や作品作成の思考力や判断力を用いて的確な表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】 作品製作に向かう力や共同作業など問題解決能力を身に付けさせる。

科目 電気実習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
け、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れた ものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に	広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術 を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その 改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社 会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身 につけている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション (3班編成によるローテーション) ①電子・計測実習 ②電気機器 ③電気工事・PC実習	・位相差測定 ・ダイオードの静特性 ・トランジスタの静特性	知識、技術」、「思考・明晰、表現」、「生体的に学者に取り出ி観度」の3線点 「加強、技術」、近東各分野に同じる総帥なか加速、技術を含化つけ、工典や発展、情境・ 資際などとの調和の設社たちのづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術 を存化つけている。 「思考・制計・表現」工業技術 に関する諮問題の適切が解決をめざして、広い視野からかずから思考し、高速的な施定と技 所を信用して適切に瞬間し、その結果を的端に差別となると適力を含じつけている。 原生活性ので発音を変し、対象との結果を見しまえる他から、その必要的 に主体的に学者を変しまり、動力とともに、 社会の発展に及びつ技術研究を積極的に学ぶ 態度を身につけている。	0	0	0	40

2	オリエンテーション (3班編成によるローテーション) ①電子・計測実習 2 ②電気機器 ②電気機器	①電子・計測実習 ・オシロスコープの取り扱い ・位相差測定 ・ダイオードの静特性 ・トランジスタの静特性 ・電子工作1 (アンプ缶) ・電子工作2 (アンプ缶)	知識・技術、「思考・事際・表現」、「主体的に学者に収り組む機関」のジ観光 「知識・技術」に現今合身所に同する総跡が立場と対象を含ていた。「裏や発展を構造、 資際などとの関係の設立たものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術 を身につけている。 「思考・判断・表現」工業技術 に関する諮問題の通知な解決をめざして、広、視野からみずから思考し、基礎的な知識と技 保証・活動に判断し、その結果を的確に表現しまると意かを身でいている。 「主体的に学習に取り組む機度」工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向 上をめざして意動的に取り組むをともに、 社会の発展に党立つ技術開発を積極的に守ぶ 制度を身につけている。		0	0	40
---	---	--	--	--	---	---	----

3	オリエンテーション (3班編成によるローテーション) ①電子・計測実習 ②電気機器 ③電気工事・PC実習	①電子・計測実習 ・オシロスコープの取り扱い ・位相差測定 ・ダイオードの静特性 ・トランジスタの静特性 ・電子工作1 (アンプ缶) ・電子工作2 (アンプ缶) ・電子工作3 (アンプ缶)	知識、技術: 「思考・判断・表現」、「主体的に容者に取り組む機度」の組成・ 知識・技術: 工業の合分等に関する高額的な職員と批析を保つけ、工業の発展と関連・ 質額などとの関係の設立にものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術 を身につけている。 「思考・制剤・表現」工業技術 に関する協問側の通过に参いるが表生の確認を表現し位える能力を終っていている。 「国考・制剤・表現」工業技術 を活角して通じ、判断し、その結果を作業に表現し位える能力を終っていている。 「主体的に学習に取り銀行機度」工業技術について主体的に興味・場とを持ち、その改善的 上をめるとして最初的に取り組むとともに、 社会の発展に改立っ技術機を積極的になって 態度を身につけている。	0	0	0	25
						105	